

NPO法人 相馬フォロアーチーム

ニュースレター 11月号

発行 2012年11月1日

寒い冬がまた来ますが、皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

相馬フォロアーチームでは、仮設事務所での初めての冬越えで、どうなることやら。幸い、事務所がある場所は大雪とはならないようなので、何とか屋根の雪下ろしはしなくても大丈夫そうです。

さて、今回は、これまで地域の関連機関に参加・連携してきましたので、それについて書かせていただきます。お読みいただきまして、ありがとうございます。



学 校 の 様 子

各学校では、文化祭の季節がやってまいりました。学校を訪問すると、子ども達が催し物の準備をしています。楽器の音色が聞こえてきたり、発表の練習をしていたり。先生方も、通常の業務に加えて、文化祭の準備で忙しそうです。



子ども達の今月の目標にも、“文化祭を最高に楽しむ”という目標がちらほら見られたり、その熱の入りようが伺えます。仲間と団結して、最高のものをつくって、一つずつ思い出を積み重ねていって欲しいですね。

組 長 会 議 へ の 出 席



毎月行われる組長会議へ出席させていただきました。仮設住宅の組長さん、副組長さんは合わせて30人ほどになります。そこに市役所の担当課の方々も出席されますので、大会議室が一杯になるほどです。会議では、仮設住宅や地域の公共事業の計画について、話されます。私たちも、相馬市の復興支援の一部を担っているのだと、改めて思います。地域の皆さまにも上手く利用していただければと思う次第です。

他 機 関 と の 連 携



先日、相馬広域こころのケアセンターなごみ（以下、なごみさん）との情報交換会を開催しました。

なごみさんでは、新地町・相馬市・南相馬市の仮設住宅にお住まいの方への訪問活動を行っています。そこで、相馬市の仮設住宅、特に東部地区と磯部地区の仮設訪問活動において、双方で連携しながら、支援をしていくことになりました。

メディア掲載



私たちの活動が福島民友(2012年10月2日号)に掲載されました。昨年に比べて、子ども達は今の生活に適応し、更なる成長を見せている例もありますが、一方で子どもたちを支えてきた教職員の方々の疲労感が表出してきている節もあります。また、これからの課題として、復興格差の問題を指摘しました。具体的には、震災と今の自分の現状を結び付けて考えてしまい、後ろ向きな考えに留まってしまうことが懸念されます。私たちとしましては、その考えから少しでも前向きな考えになれるような支援が出来ればと思っています。

～理事会の開催～

9月28日に理事会を開催しました。昨年度の収支決算報告・事業報告と今年度の収支予算案・事業計画の承認をいただきました。詳しくは、今後HPに載せる予定ですので、そちらをご覧ください。

お子さんのご様子でご心配なところはありませんか？

事務所にて、無料の相談も承っております。下記まで、お気軽にご連絡ください。

【地図】

【お問い合わせ先】



〒976-0042
 福島県相馬市中村2丁目2-15
 Tel : 0244-35-6200
 Fax : 0244-35-6215
 Mail : sft@bz04.plala.or.jp
 HP : <http://www.soma-ft.org/>
 Twitter : somaft